

平和を願って今を生きる ～檜森富恵さんの戦争体験～



檜森富恵(ひもり とみえ)さんは1931年12月に浅草で生まれました。空襲当時は深川区(現・江東区)三好町にお住まいでした(現在の清澄白河駅近辺)。1945年3月10日の東京大空襲で被災し、檜森さんの住んでいた同潤会アパートの12号館は焼失。避難時は、すでに自宅の玄関は火で塞がれていたため、窓から飛び降り、檜森さんを含む兄妹3人で元加賀小学校に逃げようとしたが入れず、小名木川の方に逃げました。小名木川の上には筏があり、その筏につかまって一晩を明かしたそうです。

戦後は東京師範学校女子部予科を経て東京学芸大学に進学し、卒業後は小学校教員を勤めました。

檜森さんのお兄さんは1945年6月に召集されました。その時、お兄さんに贈られた千人針も併せて紹介していただきます。高等小学校時代(13歳の時)に戦争を体験した人から直接お話を伺うことができる機会は貴重です。録画配信もあります。ぜひご参加ください。

日時：5月4日(日)午後1時～午後3時

(録画配信は5月12日～6月29日)

会場：東京大空襲・戦災資料センター1階・映像講話室

定員：40人(先着順)

参加費(入館料込)：一般・オンライン1000円 維持会員700円

*しょうがい者の介助者・付き添いは1人まで無料

申し込み方法は、裏面をご覧ください

